

教室だより

佐渡市立金井小学校
佐渡ことば・こころの教室
平成21年1月19日
第742号

〒952-1209 佐渡市千種155
：0259(63)4156(直) 4115(代) FAX：4117
<http://www.sado.co.jp/kanaisyo/> E-mail：kanai es@sado.ed.jp



明けましておめでとうございます。
今年、丑年です。田畑を耕す牛のように、歩みはゆっくりでも一步一步確実に、お子さんのことばとこころを耕すお手伝いをしていきたいと思います。
本年も、佐渡ことば・こころの教室をよろしくお願いします。

特別支援教育の動向

佐渡市教育委員会教育長
渡 邊 剛 忠

昨年の暮、特別支援学校の学習指導要領案が公表されました。

今改訂案では、障害の重度・重複化、多様化に応じた指導をより一層充実させるために、個別の指導計画や教育支援計画が大切であるとされています。そして、その計画や活用に当たっては関係機関との連携を図るよう求められています。

また、高等部においては、生徒の自立と社会参加に向けた職業教育の充実が盛り込まれています。キャリア教育の推進、長期間の実習等を通して、例えばお年寄りの介護の仕事を希望したいとする生徒には、介護士の資格取得の講習会に参加できる道を拓く等、特別支援学校の新たな取り組みが期待されています。

すでに告示されている小・中学校の学習指導要領と同様、各特別支援学校(学級)においては児童・生徒同士の一層の交流や共同学習を計画的・組織的に行い、児童・生徒の将来を見据えながら、保護者の皆さんや地域の皆さんと共に共同社会の構築に向けて努力をしていきたいものです。



支援を考える

子どもが安心して生きていくには、母性的な存在と父性的な存在の両方が必要です。母性的な存在は受容する存在です。優しく包み込むような存在です。父性的なものは社会的なルールや決まりごとを示してくれる存在です。

児童精神科医の佐々木正美氏は、幼児期までは絶対に母性的なかかわりが重要であり、社会的ルールは十分な母性が与えられて初めて子どもの心に入っていくと述べています。

子どもの発達支援を考えるST(言語聴覚士)の会代表の中川信子氏は、子どもは「母親なるもの」の存在から十分に守られることで基本的信頼感を得、その上に成り立つ「自我の確立」があって初めて、社会的ルールや決まりごとを教える取組が始められると述べています。

重要なのは**母性的な存在を感じるからこそ、父性的な存在に従うことができる**ということです。子どもに注意する際、「**したかったんだね**」と気持ちを受け入れた上で注意を行う方が効果的と言われるそうですが、受容するという母性的な働き掛けの後には社会的なルールを示すという順番だからと言えます。子どもに働き掛ける上で大切にしたいことです。(中村)



親の会コ-ナ-



今回は、昨年12月に行われた教室まつりの感想を掲載します。

子どもが初めて会った友達と仲良く相談しながらゲームをしている姿を見ることができてうれしかったです。もう少しお母さんたちと話ができる時間があつたらいいなと思いました。(保護者)

今回初めて親の会の行事に参加しました。いろいろなイベントがあり、日ごろできない体験をさせてもらい、楽しい時間を過ごせました。他校にお友達ができてよかったです。(保護者)

とても楽しかったです。サンタジャンケンがおもしろかったです。(子ども)

ふわふわ・チクチクストラックアウトで、高い点数が取れて良かったです。カラオケで、「崖の上のポニョ」を元気に歌ったのがすごく楽しかったです。(子ども)

子どものまっすぐで素直な面を見ることができてとても満足でした。また、勉強にもなりました。(ボランティア)

子どもたちがしっかりあいさつしたり相談し合ったりする姿を見て、私も見習わなければいけないと思いました。子どもたちが楽しんでくれたのがうれしかったです。(ボランティア)



学習会について

毎年恒例の学習会を下記のとおり計画しました。多数御参加くださいますよう御案内申し上げます。

日時 平成21年2月8日(日)9:30~11:45

会場 金井小学校

内容 ・全体会 講師：金井小学校長 山川辰也(元ことばの教室担当)
・グループ懇談会(テーマ別のグループを作り、自由に話し合います。)
<テーマ>(申込み人数等により変更する場合があります。)

A: 行動・対人関係面の対応について

E: 吃音、場面緘黙などへの対応について

B: 学習面の対応について

F: 不登校などへの対応について

C: 進路・将来について

G: その他

D: 家族や周囲の理解と対応について



子育てワンポイントアドバイス 8

~絵本に親しもう~

子どもが絵本に興味をもち始める時期があります。この絵本との出会いを大切にしましょう。

乗り物や食べ物、歌の絵本、簡単な物語等、いろいろな絵本を提示し、自由に開かせましょう。

子どもが興味をもつ絵本を大切に、何度でも自由に読ませましょう。

